

中村順平年譜

西暦	和暦	年齢	中村順平年譜
1887	明治20	0	8月29日、大阪市西区江戸堀に生まれる。
1892	明治25	5	江戸堀の幼稚園へ。途中、9月に大阪市相生幼稚園に転校。
1893	明治26	6	大阪市相生幼稚園卒園。大阪市立相生尋常小学校入学。
1896	明治29	9	大阪市立相生尋常小学校(4年課程)卒業。天満の大阪市立盈進尋常高等小学校に入学。
1899	明治32	12	大阪市立玉造尋常高等小学校に転校。
1901	明治34	14	3月25日、大阪市立玉造尋常高等小学校卒業。4月大阪実業学館商用簿記学科入学、9月卒業。
1902	明治35	15	4月、大阪府立天王寺中学入学。この頃、森ノ宮に移る。
1904	明治37	17	尺八を中尾都山に師事する。
1906	明治39	19	4月、中村都完(順平)、都山流尺八花の巻十二曲免許。
1907	明治40	20	大阪府立天王寺中学校卒業。4月、名古屋高等工業学校入学。
1910	明治43	23	3月20日、名古屋高等工業学校建築学科卒業、曾禰中條建築事務所に入る。12月、一年志願兵として大阪府三島郡高槻工兵第四大隊第一中隊に入営。
1911	明治44	24	11月29日、陸軍工兵伍長に任命される。12月兵役解除。
1914	大正3	27	東京大正博覧会会場設計。この頃、渋谷道玄坂に下宿。
1916	大正5	29	この頃、白金三光町に移る。
1918	大正7	31	北海道博覧会担当。議院建築意匠設計懸賞募集に応募。
1919	大正8	32	如水会館(東京)竣工。議院建築意匠設計懸賞募集予選入選。
1920	大正9	33	神戸より熱田丸にてフランスに渡航。
1921	大正10	34	2月4日、アトリエ・グロモール＝エクスペールへ入門。7月15日、全入学者中2位の成績でエコール・デ・ボザール入学許可、2級課程へ。
1922	大正11	35	2級課程で体育館、パノラマ館、南国の別荘(バスチード)などの、1級課程で高等電気学校、グリル(万国現代装飾美術及び工業会正門鉄扉)などの設計演習課題に取り組む。父・譲之逝去。
1923	大正12	36	11月14日、「パリ市大学街日本館」設計の卒業設計が受理され、フランス政府公認建築士D.P.L.G.の称号を与えられる。
1924	大正13	37	関東大震災後の日本に帰国、「大東京復興計画」を発表する。大森ホテル・パンションに居を構える。
1925	大正14	38	横浜高等工業学校建築科教授に就任、4月21日授業開始。中村塾を開設(東京・日本橋)、建築家教育の道場とする。
1926	大正15	39	大阪商船天津航路「長城丸」設計、以後21隻の船内装飾を設計。ジュネーブ国際連盟会館設計懸賞競技に参加。
1927	昭和2	40	岩崎邸迎賓館の食堂と喫煙室(東京・鳥居坂)設計。
1928	昭和3	41	横浜高等工業学校建築学科から第1回卒業生を送り出す。第1回建築科大行進(主題:天壤無窮)。フランス政府からオフィシエール・アカデミー勲章を受ける。
1930	昭和5	43	中村塾を東京・銀座に移す。フランスの香水王・コティ邸設計(実現せず)。第2回建築科大行進(主題:ARS LONGA)。
1931	昭和6	44	第3回建築科大行進(主題:精神文化の勝利)。
1932	昭和7	45	第4回建築科大行進(主題:光ハ東方ヨリ)。
1933	昭和8	46	第5回建築科大行進(主題:大アジア主義)。
1934	昭和9	47	第6回建築科大行進(主題:文芸復興)。
1935	昭和10	48	第7回建築科大行進(主題:日本文化ノ独立)。この頃、金光教難波分教会設計(実現せず)、保土谷曹達株式会社愛染明王堂を設計。
1936	昭和11	49	第8回建築科大行進(主題:藝術之歓喜)。
1937	昭和12	50	『横浜高等工業学校建築設計競技図集』洪洋社より刊行。横浜高等工業学校「名教自然」碑竣工。
1940	昭和15	53	皇紀2600年の奉祝行進を皇居前で行う。
1943	昭和18	56	在盤谷日本文化会館競技設計に参加。
1944	昭和19	57	『建築学 総説編』土木雑誌社より刊行。
1945	昭和20	58	教え子5人とともに伊勢神宮式年遷宮奉仕に行き終戦を迎える。
1946	昭和21	59	元町クリフサイド竣工。横浜市西ノ谷・蒲生久敏宅に移る。
1947	昭和22	60	東京駅RTO待合室壁面彫刻完成。横浜高等工業学校退官、同校講師に。
1949	昭和24	62	日本貿易博覧会壁画制作。このころ杉並八町教会設計(実現せず)。
1950	昭和25	63	横浜高等工業学校講師退官。『建築学 技術編』相模書房より刊行。この頃、群馬県宮敷島総合運動競技場設計。
1952	昭和27	65	5月31日、前橋市立工業短期大学講師就任。伯理記念博物館設計(実現せず)。
1954	昭和29	67	横浜市庁舎設計競技において主席審査員を務める。
1955	昭和30	68	雑誌『国際建築』誌上に「建築という芸術」連載開始。
1956	昭和31	69	3月20日、横浜文化賞受賞。10月28日、前橋八幡宮拝殿上棟式。Yukiya洋裁店(住宅からの改装)竣工。
1957	昭和32	70	前橋八幡宮拝殿竣工(実施設計:青木榮)。
1958	昭和33	71	3月31日、前橋市立工業短期大学講師退官。祇園会館陶壁画完成。この年、横浜・本牧に移る。
1959	昭和34	72	5月26日、日本芸術院賞受賞。このころ、新宮殿のスケッチを描く。比叡山国際観光ホテル壁画「風神雷神」(実現せず)。
1960	昭和35	73	横浜銀行本店壁面彫刻完成。
1961	昭和36	74	『建築という芸術』彰国社より刊行。
1963	昭和38	76	厳正寺本堂・鐘楼門竣工(実施設計:吉原正)。
1965	昭和40	78	中村先生謝恩会(横浜:ホテル・ニューグランド)。山口銀行本店壁面彫刻完成。この年、横浜市中区羽衣町に移る。
1966	昭和41	79	山口銀行名古屋支店モザイク壁画完成。
1968	昭和43	81	「巴里美術院」を『新建築』に連載(2-7月)。
1969	昭和44	82	岡山市庁舎漢詩壁画装飾完成。
1974	昭和49	87	「米寿記念 中村建築教育の精神とその展開」開催。
1975	昭和50	88	12月15日、日本芸術院会員となる。
1976	昭和51	89	中村順平先生卒寿祝賀会(日本橋倶楽部会館)。11月3日勲三等瑞宝章受章。
1977	昭和52		NHKスタジオ102出演。5月24日、横浜市立大学医学部病院にて逝去。

・ 主要参考文献

- ・ 網戸武夫編『中村順平先生米寿記念 中村建築教育の精神とその展開』近代家具、1975
- ・ 網戸武夫『情念の幾何学 形象の作家中村順平の生涯』建築知識、1985
- ・ 『大阪歴史博物館 館蔵資料集5 建築家・中村順平資料』大阪歴史博物館、2009
- ・ 林要次『博士學位論文 近代日本におけるフランス建築理論と教育手法の受容 —中村順平の理論と教育を中心として—』横浜国立大学大学院都市イノベーション学府、2015

・ 本年譜作成にあたっては、林要次氏の助言を得た。

(酒井一光)